

(岩倉市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校5校、中学校2校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		0人
		地域学校協働活動推進員		14人
	CS及び地域学校協働本部設置状況	統括コーディネーター		0人
		地域コーディネーター		0人
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小 5校	中 2校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 5校	中 2校	



(活動の実際)

- ・グリーンサポーター活動
- ・授業ボランティア活動（家庭科：調理実習・裁縫、生活科：植物栽培水やり・町探索、図工：のこぎり）
Google フォームで保護者へ参加を呼びかけて募集。
- ・意見ボックスを作成。学校をより良くするためにやってほしいこと、アイデアを児童、教員、保護者、地域の人だれでも自由に投書できるように設置した。ボックスのデザインを5、6年生から募集し認知を広めた。
- ・トイレ清掃。児童だけでは維持管理が困難なためボランティアにより実施。ボランティアの紹介も兼ねてトイレの使い方メッセージを掲載。
- ・PTA 活動の見直しで中止となったイベントの代わりとなるイベントの開催。
- ・合唱グループの立ち上げや地域の盆踊り大会の練習会など、学校に地域の人や子供が集まるイベントの開催。
- ・「中学生を地域へ」という考えのもと、「地域おたすけサークル」設立の準備。

(◎成果と●課題)

◎成果

- ・授業ボランティア活動では、調理実習の時間に余裕ができ、生活科の植物栽培の水やりで教員の休日出勤が不要になった。
- ・家庭科応援サークルの活動は、会員相互の情報交換が進み、主体的なボランティア活動になっている。

●課題

- ・情報発信はしているが、なかなか地域の理解や協力がすすまない。教員の理解も温度差がありすすまない。
- ・新たに始めたボランティアとすでに実施されてきた図書ボランティアとの線引きが難しい。
- ・ペーパーレス化をすすめたいが、時間に余裕のある年配の方には紙面の方が目につきやすい。

(関係者の声)

- ・保護者の支援が入ったことで、活動時間にゆとりが生まれた。また、生活科の植物栽培の水やりで、教員が週末に出勤する必要がなくなり、大変ありがたい。(教員)
- ・子供たちから「次はボランティアさんいつ来るの?」と聞かれるなど学校に保護者やボランティアがいることが少しずつ自然になってきている。(地域ボランティア)